

東アジア圏電力網の可能性
-資源供給における中国リスクに対応する洋上風力発電-

要旨

氏居綾香

カーボンニュートラル実現のためには、再生可能エネルギーの拡大が鍵となり、その中でも洋上風力発電は日本周辺において大きなポテンシャルを持つ上、エネルギー安全保障確保にも貢献する。本稿では、洋上風力発電の日本における状況の整理を行ったうえで、東アジア圏の洋上風力発電拡大に伴う電力網構築の可能性について考察を行った。その結果、電力網構築がエネルギー安全保障を確保に貢献する可能性があり、日本企業への経済効果が示された一方で、安全保障や経済安全保障の担保には貢献しないことが明らかになった。さらに、日本国内のみの電力網構築にもメンテナンスや監視における無人航空機の活用や送配電分離の徹底などの課題がある。また、電力取引の国際化や洋上風力発電の補完となるベースロード電源のあり方についてのさらなる研究が必要である。